

ともに、 守り抜く。

本部 〒480-1155 愛知県長久手市平池901番地 TEL:0561-62-3161(代) FAX:0561-62-3182



大規模病院

安城更生病院



〒446-8602
安城市安城町東広畔28番地
TEL:0566-75-2111 FAX:0566-76-4335



江南厚生病院



〒483-8704
江南市高屋町大松原137番地
TEL:0587-51-3333 FAX:0587-51-3300



海南病院



〒498-8502
弥富市前ヶ須町南本田396番地
TEL:0567-65-2511 FAX:0567-67-3697



豊田厚生病院



〒470-0396
豊田市浄水町伊保原500番地1
TEL:0565-43-5000 FAX:0565-43-5100



中規模病院

渥美病院



〒441-3415
田原市神戸町赤石1番地1
TEL:0531-22-2131 FAX:0531-22-0284



稲沢厚生病院



〒495-8531
稲沢市祖父江町本甲拾町野7番地
TEL:0587-97-2131 FAX:0587-97-3633



足助病院



〒444-2351
豊田市岩神町仲田20番地
TEL:0565-62-1211 FAX:0565-62-1820



知多厚生病院



〒470-2404
知多郡美浜町大字河和字西谷81番地6
TEL:0569-82-0395 FAX:0569-82-4333



病院事務総合職 採用案内

Recruit Guide

あなたは「病院の事務総合職」と聞いて、どんな仕事を思い浮かべますか？

おそらく患者さんの受付や会計といった医療事務ではないでしょうか。

私たちJA愛知厚生連の事務総合職の仕事はそれだけではありません。

患者さんにより良い医療を提供するための仕事、

病院を円滑に運営するための仕事、医療機器の購入に関する仕事など

医療現場の近くから管理部門までさまざまな部署で活躍しています。

病院ではたくさんの職種がチームとなって医療を提供しています。

事務総合職もチーム医療の一員として、医療専門職をバックアップすることはもちろん、

病院全体の課題に対する分析や提案では中心的な役割を担っています。

また、地域に目を向けると、医師不足や救急医療のひっ迫などの課題を抱えています。

こうした地域の課題に真正面から向き合うこともJA愛知厚生連の大切な役割であり、

地域との関わりを深めていくには事務総合職の企画・調整力が欠かせません。

高齢化が進み、医療の需要が高まるなか、

地域から求められる医療を実現するために、

日々の業務の中から課題を見つけ、周りをリードしながら達成する。

大きなことも小さなことも、すべてが地域への貢献につながる。

それがJA愛知厚生連の事務総合職の仕事です。



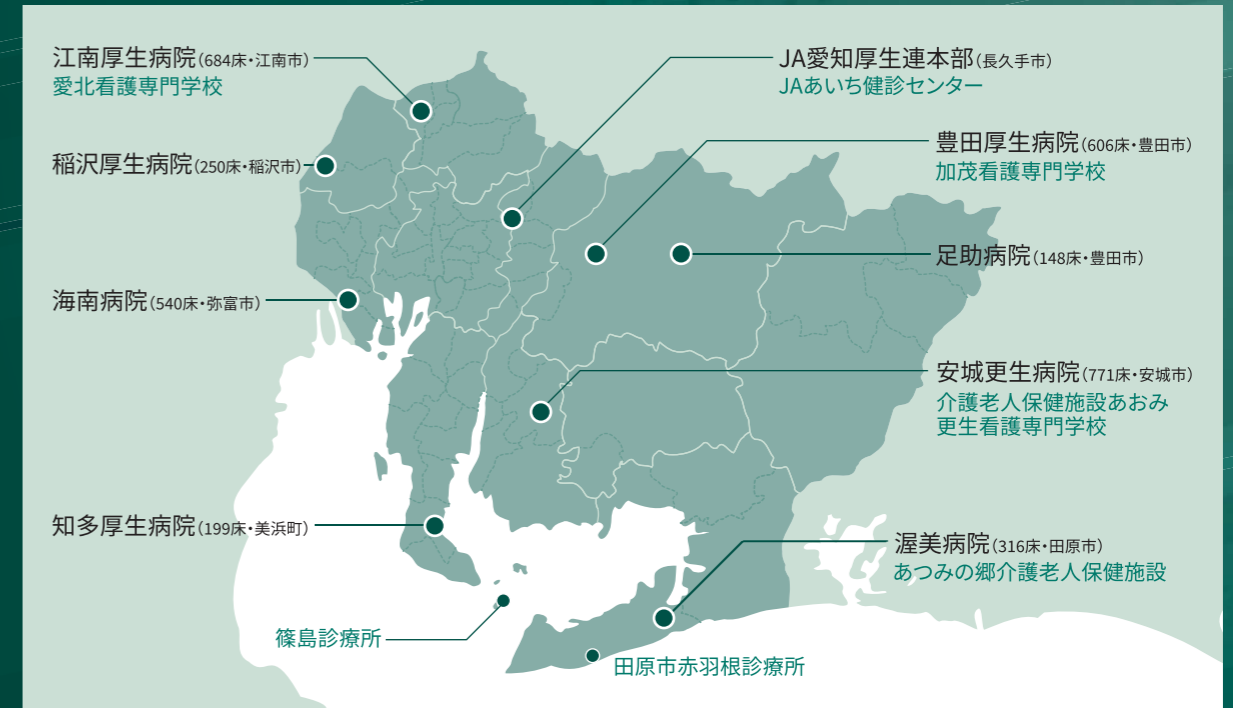
JA愛知厚生連は1948年に設立され、現在では公的医療機関[※]として県下8つの病院を中心に「地域とともに、地域医療を守り抜く。」という使命のもと、医療・保健・福祉を提供しています。

※公的医療機関 日本赤十字社、済生会、厚生連などが運営する医療機関であり、一般診療に加え救急・災害医療、高度・先進医療、へき地医療などの民間医療機関では提供することが難しい医療を担っています。

理念 私たちは、受ける側の立場に立ち、医療を中心とした活動を通して地域住民の安心感の確保を図るとともに、医療・保健・福祉のあるべき姿を追い求めます。

私たちのルーツは、大正時代の鳥根県の農村にあります。医療が行き届いていなかった地域の農家の人たちが、みんなで助け合いお金を出し合って小さな診療所を開設したのが始まりです。こうした考えは、全国に広がり、農家を中心とした医療組合に発展していきました。

愛知県内でも、人口の少ない郡部や山間部に、病院や診療所が開設され、JA愛知厚生連に受け継がれました。地域に根ざし、地域の声に応えながら現在は県内に8つの病院を運営し、人口の少ない地域の基本診療を提供する病院から、高度な医療を広範囲に提供する病院まで網羅しています。



DATA

病院



8病院

他にも診療所・介護施設・健診センターを運営

看護専門学校



3校

総病床数



3,514床

愛知県の約1割を占め、地域医療に貢献

救急搬送件数







約4万件/年

事業要覧はこちら



WORK CONTENTS & INTERVIEW

病院事務総合職にはさまざまな仕事があります。その一部をご紹介します。

医事課  <ul style="list-style-type: none"> ■ 受付・会計 ■ レセプト[*]の作成 ■ レセプトデータの分析 ■ 収入改善策の提案 	総務課  <ul style="list-style-type: none"> ■ 入退職手続き ■ 給与計算 ■ 採用活動 ■ 働きやすい職場づくり 	施設課  <ul style="list-style-type: none"> ■ 医療機器・備品の購入 ■ 医療機器の価格交渉 ■ 病院建築 ■ 防災計画の立案 	企画課  <ul style="list-style-type: none"> ■ 収入・支出の全体管理 ■ 事業計画の作成 ■ プロジェクトの進行 ■ 広報
---	---	---	---

※診療報酬明細書のこと。診療の内容や費用を定められた書式にまとめたもの。

この他にも電子カルテや診療録の管理を行う「医療情報課」、地域の医療機関や介護施設との連携を担う「地域連携課」、職員研修や研修医の臨床研修のサポートを行う「教育研修課」、健康管理センターで事務手続きを行う「健康管理課」などさまざまな部署で事務職員が活躍しています。

安城更生病院 施設課

長澤 仁 ■ 2016年4月入職

新棟の備品調達を担当することに

2022年1月に南棟が新築オープンしました。南棟で使う全備品の調達を任されたのは、入職6年目の2021年5月のことです。それまでも南棟の建設工事に携わっていましたが、備品の調達は私が主担当となり、後輩2人を率いることになりました。南棟オープンが半年後に迫るなか、まず着手したのは購入物品のリストアップです。南棟で働くことになる部署の職員と打合せを重ねました。購入品目は1000以上にのぼり、予算を大幅に超過していました。

医療の最前線となる“場”を上げる

予算内に収めるために診療エリアは機能やデザイン、職員エリアは価格を重視して購入品の選定基準を設けました。現場の職員には全体予算感を伝え、買い替え延期を粘り強く交渉した結果、予算内での調達を実現できました。完成した南棟で職員が働いているのを見た時に、医療の最前線となる場を自分たちの手で作り上げたという達成感を味わうことができました。現場へ足を運び、直接動きかけることを大切にするという経験がその後の業務に活かしています。



1日のタイムスケジュール

- 8:30 ● 出勤
- メールチェック
- 9:00 ● 医療機器の取得申請
- 11:00 ● 課内の打合せ
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 診療科のヒアリング
- 15:00 ● 取引会社との価格交渉
- 17:00 ● 退勤



豊田厚生病院 医事課

田村 貴浩 ■ 2017年4月入職

日常業務の気づきから分析へ

医事課は受付や会計、レセプトの作成などの基本業務に加え、レセプトデータの分析に基づく収入改善提案を行う部署です。私の担当は全レセプトデータを精査する業務ですが、ある時、入院日数が長期化していることに気がつきました。入院日数が長いと空きベッドが少なくなり、緊急入院の受け入れができなくなるため、救急医療を担う当院としては適切に管理する必要があります。データを分析し改善策をまとめたところ、病院全体で取り組むことになりました。

医療現場の理解と協力を得るために

まず医師のもとを訪れ、改善策を繰り返し説明しました。すると医師の意識が少しずつ変わり、改善に向けて実行してくれるようになりました。また、退院調整を行う医療ソーシャルワーカーとも話し合い、これまでより早期から転院先を探してもらえることになりました。これらの取り組みにより入院日数を短縮することができました。医事課の業務では、分析に基づく改善策を医療現場に理解してもらい、改善につなげていけるところが一番のやりがいです。



1日のタイムスケジュール

- 8:30 ● 出勤
- メールチェック
- 9:00 ● レセプトデータの分析
- 11:00 ● 上司に報告
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 後輩のレセプト作成指導
- 15:00 ● 医師との打合せ
- 17:00 ● 退勤

本部企画管理部 経営企画課

井桁 千聡 ■ 2009年4月入職

広報ツールの刷新

本部の広報担当として厚生連全体の広報活動を行っています。本会の課題である「JA愛知厚生連としての認知度向上」を目指して広報改革に取り組んでいるところです。はじめに広報誌や事業要覧など紙の広報物をリニューアルしました。文字ばかりで堅い印象だったので、思わず手に取りたくなるビジュアルに変更しています。また、JAグループ合同で行う記者発表に参加し、メディア掲載につなげるなど多くの方に知っていただく取り組みを行っています。

チームの力を最大限引き出す

2023年には8病院を紹介するスペシャルムービーの制作を行いました。企画・撮影・編集に総勢200人が関わる大きなプロジェクトとなりましたが、病院・本部・制作会社がチーム一丸となって完成させることができました。私は全体のリーダーとして企画・調整を行い、チームの力を最大限引き出すことに全力を注ぎました。何でもチャレンジさせてもらえる環境が、私の背中を押してくれています。



1日のタイムスケジュール

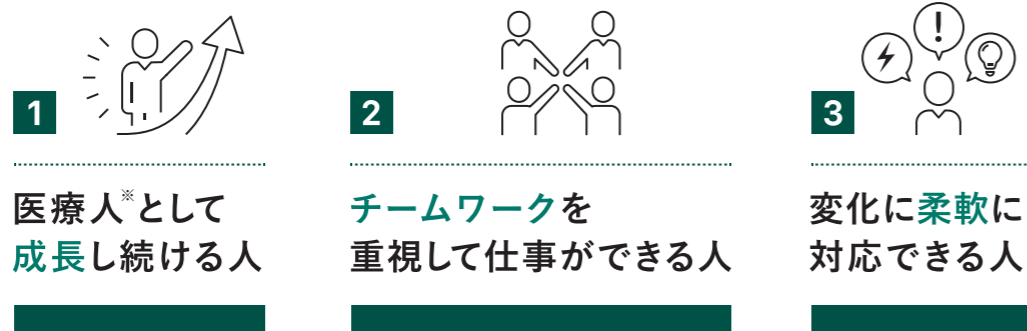
- 8:30 ● 出勤
- 9:30 ● JAグループ記者会へ出張
プレスリリース発表
記者との質疑応答
- 12:00 ● 職場に戻り昼食
- 13:00 ● 上司に報告
広報誌の校正作業
- 15:00 ● 翌月の特集の企画
- 16:00 ● 退勤
1時間休をとって
子どもの予防接種へ

JA愛知厚生連では、地域医療を守り続けるために、職員の能力を最大限に引き出すことを目指しています。本会の人材育成の考え方と新入職員教育をご紹介します。

人材育成理念

「地域医療を守り抜く。」という使命を担い、自ら考え行動できる「自律型人材」を育成します。

目指す人材像



※医療専門資格の有無に関わらず、JA愛知厚生連で働くすべての職員を「医療人」と考えています。

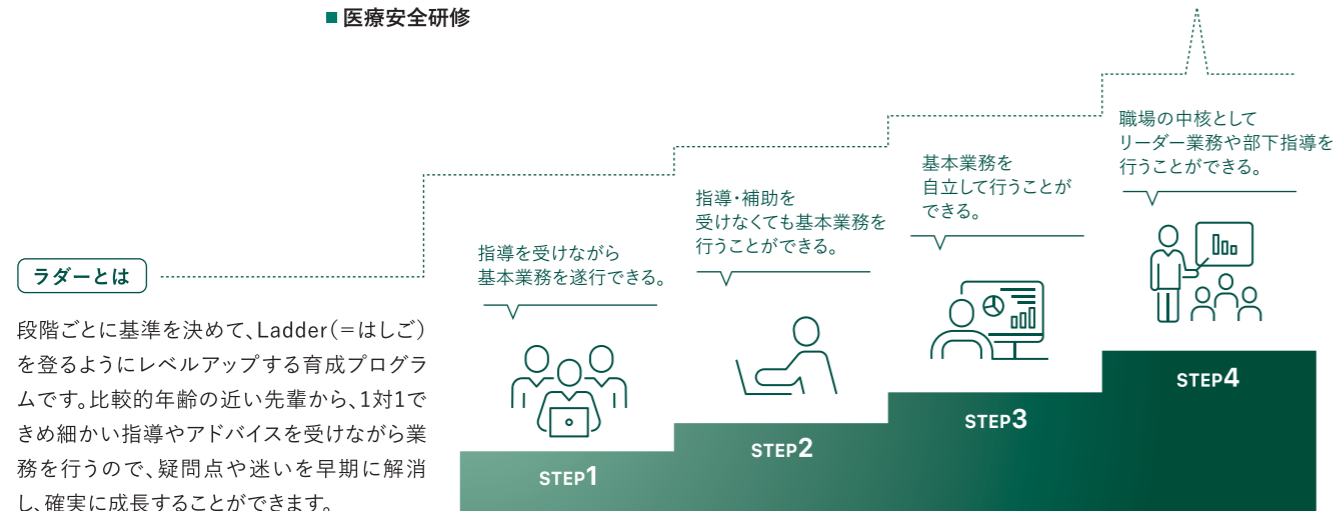
新入職員教育

自律型人材となるためにOJTとOFF-JTを組み合わせる基礎固めを行います。



- JA愛知厚生連で働くということ
- 社会人ビジネスマナー
- 感染対策研修
- 医療安全研修

- 段階別到達目標(ラダー)を用いた育成プログラム
- 育成担当者が1対1でサポート



Q1

入職時に資格や医療知識は必要ですか？

A 入職時に医療事務の資格や医療知識がなくても大丈夫です。実際に知識を持たないまま入職する方がほとんどであり、仕事を進めながら必要な知識が身につくように教育体制を整えています。採用選考でも出身学部は問わず、医療知識に関する試験も行っておりません。

Q2

最初の勤務地はどのように決まりますか？

A 採用説明会で各病院の特徴や特色をお伝えし、選考でお聞きした希望の勤務地を考慮して決定しています。また、その後の転勤は、10年前後で行われるケースが多く、多彩な経験で視野を広げながら、スキルアップにつなげてほしいと考えています。

Q3

どんな人材を求めていますか？

A 患者さんやさまざまな職種の職員と円滑なコミュニケーションがとれ、人との関わりの中で、お互いの価値観を尊重しながら、自分の考えを表現できる人を求めています。また、医療の未来を前向きに考え、困難な課題があっても積極的に取り組めることも重視しています。

Q4

休日や夜間の当番(宿日直)はどのくらいありますか？

A 病院では救急患者を24時間受け入れています。病院によって異なりますが、2週間～1ヵ月に1回程度、休日や夜間の当番勤務をしています。(振替休日や手当があります。)宿日直での業務は、病院事務の仕事を一通り経験できる良い機会となります。



事務総合職専用サイト



採用メディア One day



採用 Instagram



スペシャルムービー

